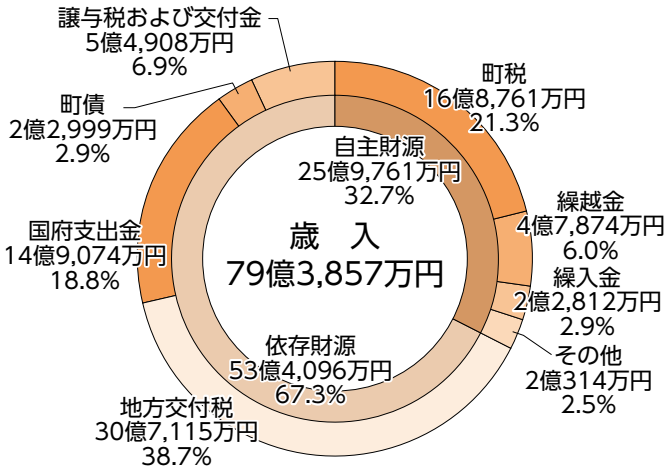
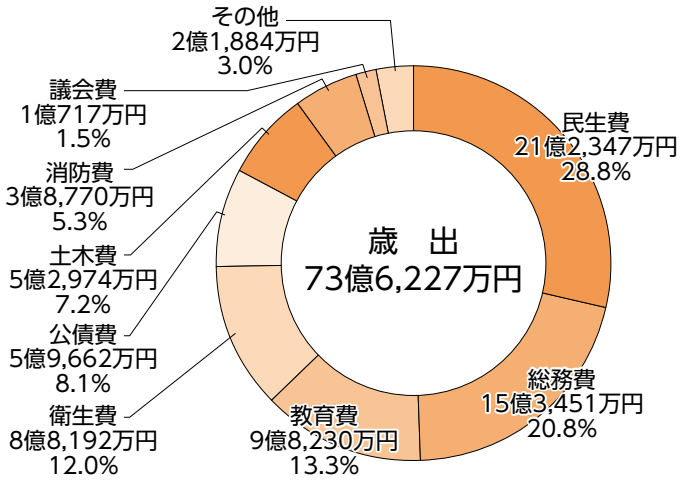
決算状況 145億3,893万円
(一般会計・特別会計歳出総決算額)

歳出総額が73億6,227万円であり、翌年度に繰越す事業の財源1億3,725万円を除くと、4億

7,936万円の減となりました。主たる財源である町税は16億8,761万円となり、1,768万円減、地方交付税は1億9,841万円の増となりました。自主財源の割合は、前年度より0.4%減67.3%と財源の3分の2以上を占め、依然として厳しい財政状況が続いています。
万円の減となりました。スマートシティ推進事業や新型コロナウイルス対策関連事業の減が大





令和5年度に実施した主な事業

お買い物クーポン券配付事業	**5,605万円**
物価高騰対策および地域経済の活性化のため、お買い物クーポン券の配布を行いました。	
地域公共交通基本計画策定事業	**462万円**
地域の実情に応じた地域公共交通の基本計画を策定しました。	
住宅建替促進事業	**233万円**
個人所有の空き家の除却を支援し、住宅の建替を促進するため、家屋除去に係る費用の一部の補助を行いました。	
橋梁長寿命化等事業	**9,215万円**
橋梁の定期点検および改修工事等を行いました。	
光風台中央公園トイレ設置工事	**2,976万円**
光風台中央公園に新たに公衆用トイレを設置しました。	

豊能町総合防災マップ改訂版作成事業	**396万円**
各地域毎の危険箇所の把握や住民の防災意識の向上を図るため、総合防災マップの改訂版を作成しました。	
小中一貫校施設整備事業	**2,350万円**
西地区における義務教育学校整備に向け、基本設計および実施設計を行いました。	
中学校給食費支援事業	**1,456万円**
中学校給食の無償化を実施するための補助を行いました。	
障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	**160万円**
発達障がいのある児童・生徒に関する相談員を定期的に学校等に派遣し、特別支援教育の推進を図りました。	
使用済みおむつ回収事業	**206万円**
ふたば園・吉川保育所で使用した紙おむつを、保護者が持ち帰らずに処分できるよう専用の回収機器を設置しました。	

問＝行財政課　☎739-3414

令和5年度

一般会計の決算状況は、歳入総額が79億3,857万円、3,905万円の黒字となりました。

歳入は、国庫支出金の減などにより、前年度より8億の減となりました。また、国庫支出金は7億3,635万円の32.7％となり、地方交付税などの依存財源の割合は、

一方、歳出は73億6,227万円で、前年度より9億7,692きく影響しています。

基金現在高（まちの預金）

財政調整基金	17億4,424万円
公共施設整備基金	1億7,737万円
町債管理基金	1億232万円
文化振興基金	552万円
退職金等引当基金	3億3,847万円
ふるさとづくり基金	1億3,263万円
物品調達基金	300万円
介護保険介護給付費準備基金	8億3,930万円
旧吉川財産区基金	3,671万円
下水道建設基金	4,433万円
下水道債管理基金	317万円
森林環境譲与税基金	496万円
土地開発基金	7,520万円
合　計	35億722万円
前年度比	+2億1,826万円

※基金現在高は令和６年３月末の額です。

町債現在高（まちの借金）

一般会計	51億5,970万円
下水道事業	11億4,268万円
生活排水処理事業	2,683万円
合　計	63億2,921万円
前年度比	▲4億76万円

会計別決算状況

会計別		歳入額	歳出額	差引額
一般会計		79億3,857万円	73億6,227万円	5億7,630万円
国民健康保険特別会計	事業勘定	27億1,453万円	26億9,502万円	1,951万円
	診療所施設勘定	8,612万円	8,567万円	45万円
後期高齢者医療特別会計		6億9,201万円	6億6,637万円	2,564万円
介護保険特別会計事業勘定		25億702万円	23億6,430万円	1億4,272万円
下水道事業特別会計		6億68万円	4億2,055万円	1億8,013万円
合　計		145億3,893万円	135億9,418万円	9億4,475万円
前年度比		▲7億2,537万円	▲8億9,648万円	＋1億7,111万円

財政健全化判断比率

○財政健全化判断比率とは

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、財政健全化指標等を公表することが義務付けられています。指標が基準を超えた場合には、早期健全化計画あるいは財政再生計画を策定し、早急に改善に取り組まなければなりません。豊能町の令和5年度決算に基づく各指標は、以下のとおりで、いずれの指標も基準以下となっています。

○健全化判断比率

財政の早期健全化や再生の必要性を判断する４つの財政指標です。

（単位：%）

指　標	豊能町の数値	国の基準
実質赤字比率 一般会計が、黒字か赤字かを判断する指標	―	14.94
連結実質赤字比率 特別会計・公営企業会計を含めて黒字か赤字かを判断する指標	―	19.94
実質公債費比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実際に負担した公債費の割合を示す指標	5.5	25.0
将来負担比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実質的に負担しなければならない負債を示す指標	―	350.0

※「―」は赤字または将来負担が無いことを表しています。

○資金不足比率

事業の規模に対する資金不足額を、公営企業ごとに示す指標です。

（単位：%）

指　標	豊能町の数値	国の基準
下水道事業特別会計	―	20.00

※「―」は資金不足が無いことを表しています。

※グラフおよび各表の数値は、決算数値を1万円単位で四捨五入しているため、合計や差額が一致しない場合があります。